

ジョリパットアルファ  
JP - 100シリーズ  
あやめカット仕上げ  
施工の手引き

【初版】平成22年4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m <sup>2</sup> / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T ( ...数字 ) 特注色 JP-100 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>レ</sup> 缶	約 7 m <sup>2</sup> / 缶

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン (口径 4 ~ 6 mm)
  - ・ マスチックローラー (ジョリパットローラー JR - 20 : 9インチ) 又は、  
金ゴテ
  - ・ あやめローラー (ジョリパットローラー JR - 30 : 7インチ)
  - ・ 隅用ローラー (ジョリパットローラー JR - 25)
  - ・ ヘッドカットローラー (平面用 : ジョリパットローラー JR - 26)  
(隅 用 : ジョリパットローラー JR - 27)
  - ・ コンプレッサー (2 . 2 kW (3馬力以上) : 1台使用の場合)
  - ・ 灯油
- 下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

## < あやめカット仕上げ施工方法 >

### 1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18ℓ
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JP - 100 シーズ*	20kg
	清 水	1.5 ~ 2ℓ
塗 布 量	約0.9 kg / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 kg f / cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
使用ガン	リシンガン口径 4 ~ 6mm	
	左官業者の場合は、ジョリパットアルファを無希釈で 0.9 kg / m <sup>2</sup> となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。 (下ごすり)	

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

< 塗装業者の場合 >	
・ マスチックローラーにてジョリパットアルファが 約2 kg / m <sup>2</sup> となるよう、上下・左右にローラーを転がし、 均一に配り塗りする。(ムラ切り)	
< 左官業者の場合 >	
・ 金ゴテにてジョリパットアルファが約2 kg / m <sup>2</sup> となる よう均一に配り塗りする。	

### 追いかけ (5分以内)

### 4. パターン付け

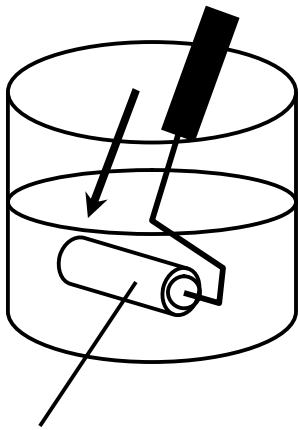
・ あやめローラー (JR - 30) に充分ジョリパットアルファ を含ませる。(図 - 1)
次に、あやめローラーを横方向に転がし、ジョリパットアル ファのムラ切りをする。(図 - 2)
ジョリパットアルファが均一に配られていることを確認し てからあやめローラーを上から下にまっすぐ転がす。ロー ラーを少し引きずるような感覚でパターン付けする。 (図 - 3)

追いかけ (5分以内)

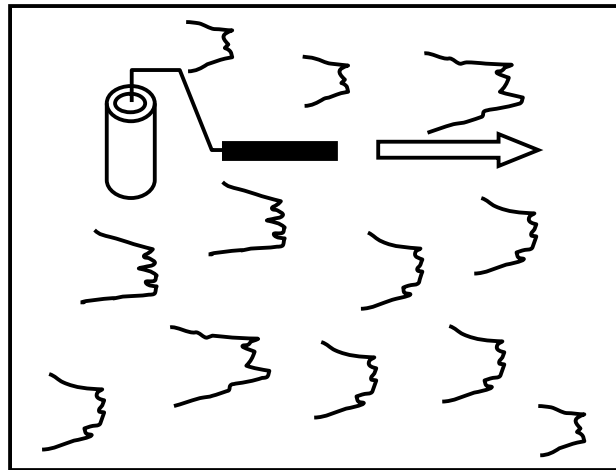
5. ヘッドカット (押さえ)

・ヘッドカットローラーJR - 26 (平面用) や JR - 27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジョリパット模様の表面をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

< 施工のポイント >

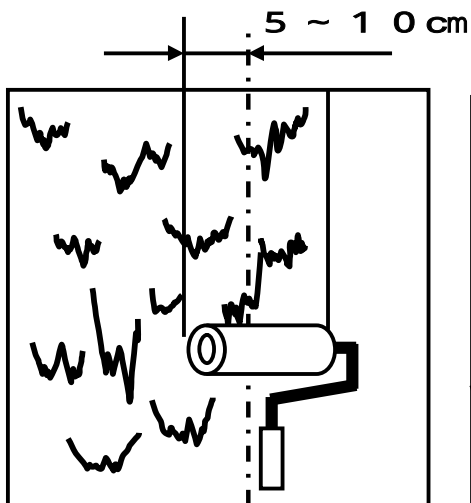


JR - 30  
(あやめローラー)  
図 - 1



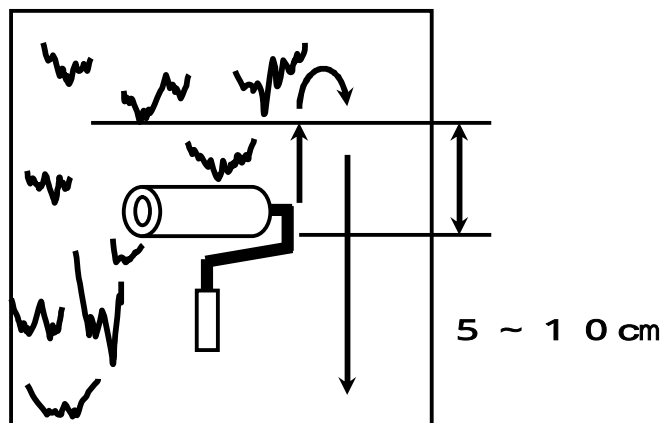
ムラ切り  
図 - 2

横の塗り継ぎ



・5 ~ 10 cm 前のパターンと交差するようにローラーを上から下へ転がしてパターン付けを行って下さい。

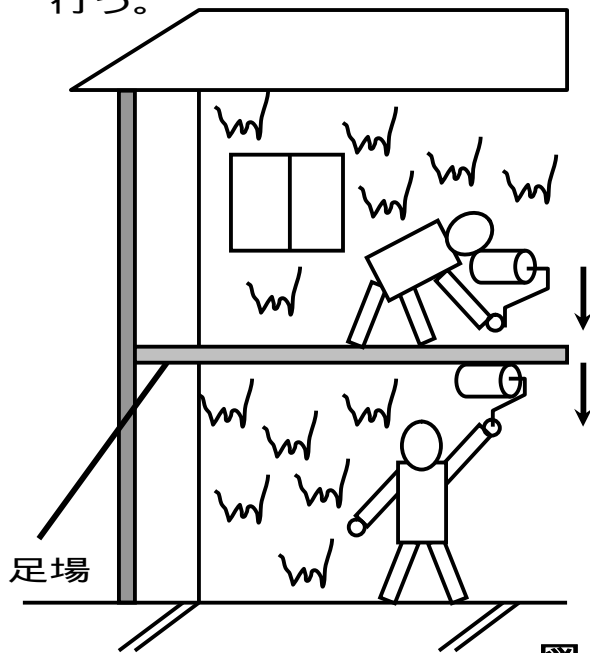
縦の塗り継ぎ



・ローラーを5 ~ 10 cm 上に戻してから下方方向に転がしてパターン付けを行って下さい。

図 - 3

あやめローラーJR - 30が入らず、パターン付けが困難な入り隅などは、隅用ローラーJR - 25にてパターン付けを行う。

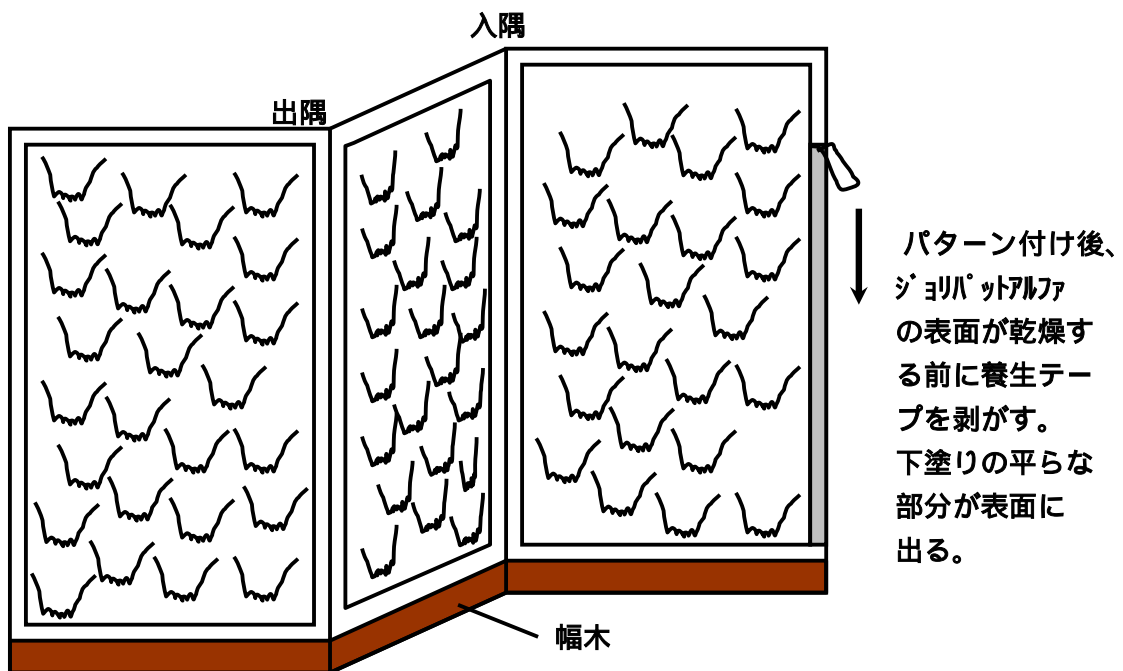


足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパットアルファの表面が乾燥して皮はる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 4

### 入り隅、出隅の処理方法

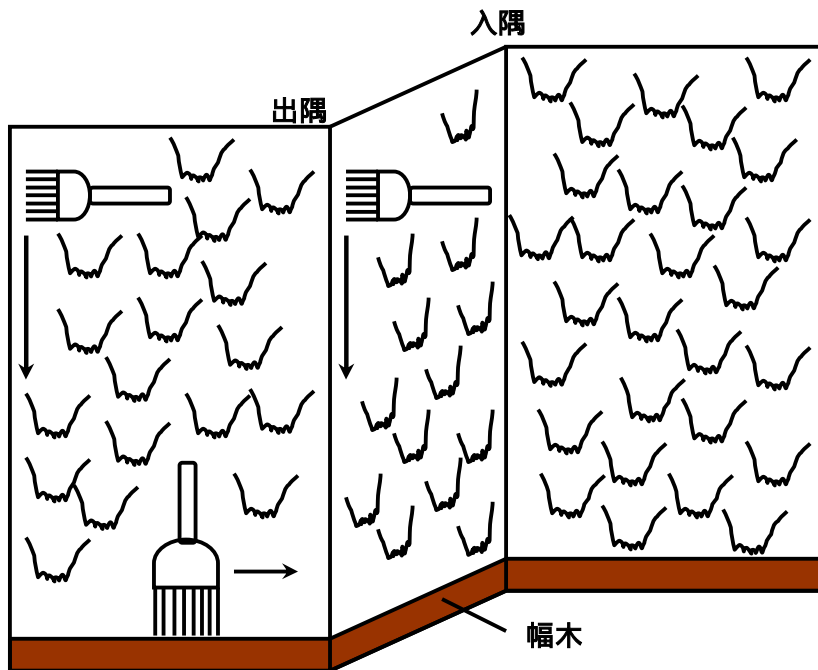
- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットアルファが乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえる。  
(図 4)



パターン付け後、ジョリパットアルファの表面が乾燥する前に養生テープを剥がす。下塗りの平らな部分が表面に出る。

化粧目地をとる工法

ジョリパットアルファを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図 - 5

### < 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にする。  
(パターンを均一にする為)
- ・ 塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。  
(一般的に塗布量が少ないと小柄な模様になり、塗布量が多いと大柄な模様になる為、塗布量に注意する。)
- ・ あやめローラーJR - 30 (パターンローラー) にもジョリパットアルファを充分含ませる。(あやめローラーにジョリパットアルファを含ませずにパターン付けすると模様が小柄になり、きれいな模様ができません。)
- ・ あやめローラーは、軽く引きずるような感覚で動かし、パターン付けする。力を抜いてローラーが転がるようにパターン付けしても模様は出ません。
- ・ ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。  
(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)

- ・ 縦方向の塗り継ぎは、一部分に集中させず、ちどり状になるよう（図 - 6）にする。（足場部分では、塗り継ぎが集中しやすい為、ちどり状になるよう注意する。）

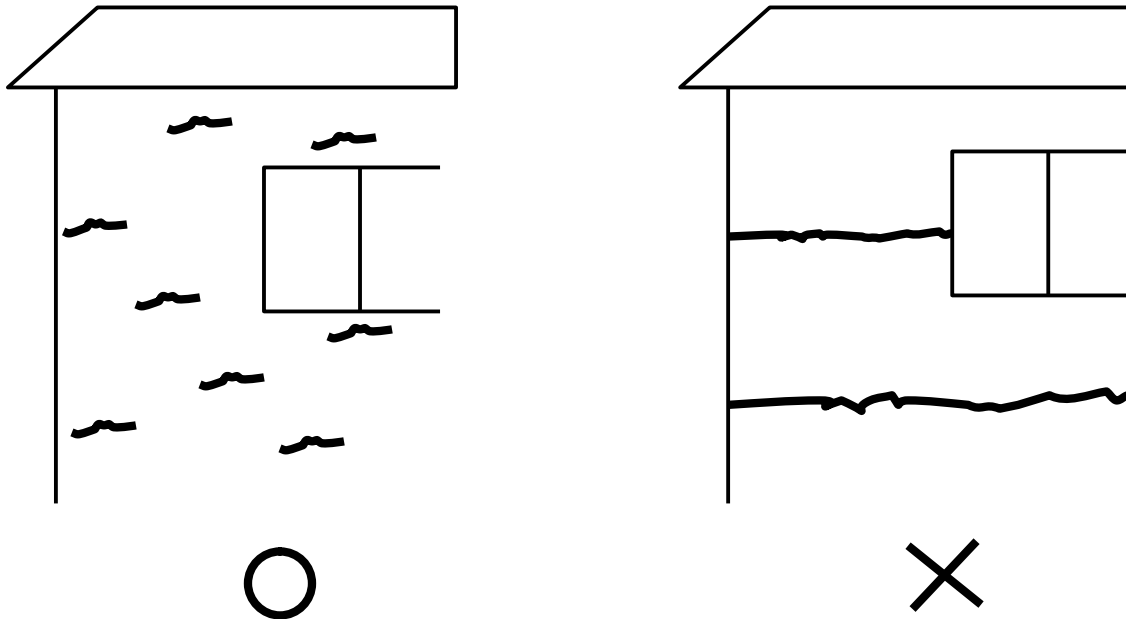


図 - 6

- ・ 大面積を施工する場合、ジョリパットアルファの表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。（図 - 7）

（例）

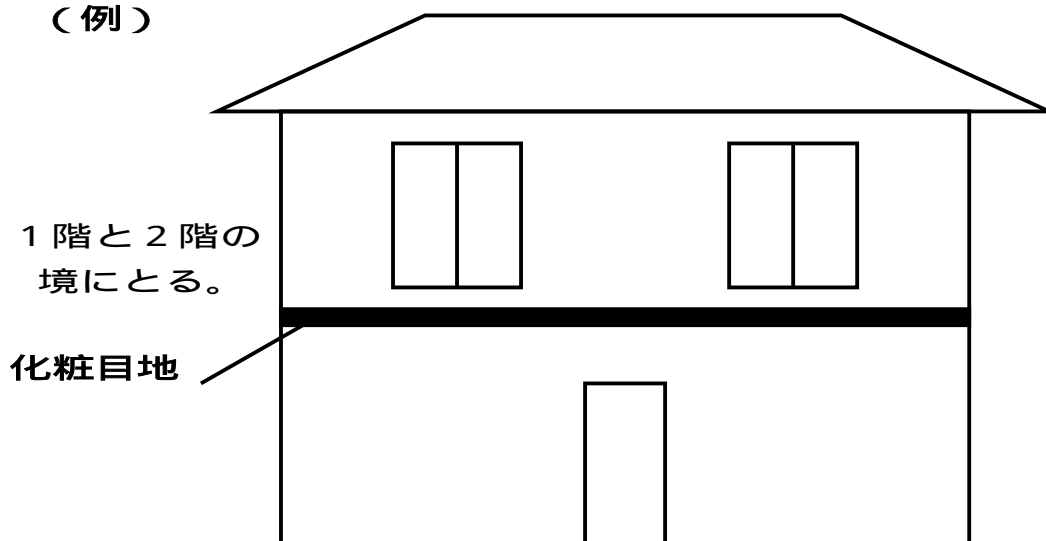


図 - 7

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリハット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

以 上